

研究グループの博士院生（博士課程後期学生）募集案内

	項目	内容
1	研究グループ名	森林生態系_機能・生物多様性解析グループ
2	教員所属・氏名	環境生命学専攻： 大野 啓一（教授）・持田 幸良（教授） 酒井 暁子（准教授）・中森 泰三（講師）・森 章（助教） 環境リスクマネジメント専攻： 金子 信博（教授）・小池 文人（教授）
3	研究内容	森林生態系を構成する植生・土壌・土壌動物に関する研究、またそれらを統合して栄養塩動態などの研究を行う。地形の構造や攪乱体制など生息地の時空間構造を決定付ける生態系のバックグラウンド特性、生活史や分散能力など森林生態系を構成する生物の生態特性、および土壌の窒素生成・保持力など生態系の機能特性を相互に関連付けて研究し、森林生態系における生物多様性の包括的理解を目指す。
4	求める人材像	3に関係する基礎的な知識や経験があり、生物や森林、自然環境が好きで、自然界のルールを解き明かすことに高い意欲がある人。集中力があり、山地で野外調査をする体力や実験室で生化学実験をこなす根気あるいはその両方を持つ人。英語文献を読みこなせ、データ解析に関するスキルがある人。（ガッツのある女子、大歓迎）
5	研究環境	・環境情報研究院には本グループの他にも生態学系の教員やポスドク・院生が多数在籍し、高度な研究議論や共同研究が日常的に可能。GCOEプログラム「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」が進行中（H23年度まで）、JST「環境再生リーダー養成プログラム」で博士課程後期学生の海外調査を支援。 ・年輪読み取り機、N/C アナライザー、植物・土壌培養施設など3に関する研究機器類、実験設備あり（本グループだけで建物1棟以上のスペース） ・ArcGIS 9.3のサイトライセンス整備、工学系専門家による支援あり。
6	多様な履修システム	一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。 ・短縮修了：正規には修了に3年間かかりますが、最短で1年間への短縮が可能です。 ・長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で6年間までの長期履修が認められます。
7	経済的支援	授業料免除、RA（リサーチ・アシスタント）、TA（ティーチング・アシスタント）、院生対象の共同研究プロジェクト助成、国際学会参加支援などの制度が充実しています。
8	募集スケジュール	・平成22年5月24日～5月26日：社会人特別選抜出願資格書類提出期間 ・平成22年6月21日～6月24日：出願期間 詳しい内容は下記の大学HPを参照ください http://www.eis.ynu.ac.jp/entrance_frame.htm
9	問い合わせ・連絡先	酒井 暁子（准教授） 電話：045-339-4360、メール：gyoko@ynu.ac.jp